

06 「お米を食べよう条例」で 市内産米の消費拡大へ。



お米を食べよう条例:市内産米の消費拡大を推進し、市内産米の安定生産と農業の持続的な発展を目的に、令和5年4月から施行。

米コンテスト国際大会 図 産業経済課

- 12月6日・7日開催！金賞を目指し、世界に市内産米の素晴らしさをアピール
- 令和6年度は、茨城県内の農家に応募資格を拡大し、米コンテストを実施
- 低温倉庫も整備し、米づくりの支援を全力で実施



山梨県北杜市（前回大会開催地）での大会旗引継ぎ式



第4回つくばみらい市米コンテスト



整備した低温倉庫



大会プロモーションチラシ

みらい米 フォト & おにぎりコンテスト 図 産業経済課

- 市内産米の魅力を再認識してもらう取り組み
- お米を食べよう運動公式 Instagram のフォロワー数も増加中



みらい米おにぎりコンテスト 2024 グランプリ
(写真左から「わが家のお手軽おにぎり」部門、
「大切な人に届けたいおにぎり」部門)



お米を食べよう運動
公式 Instagram はこちら！
フォローしてね！

おにぎりコンテスト応募件数

令和6年度

27 件

令和5年度 26 件

フォトコンテスト応募件数

令和6年度

70 件

令和5年度 44 件



みらい米フォトコンテスト
2024 グランプリ

農機シェアリング 図 産業経済課

利用時間

令和6年度

148 時間

登録者数

令和6年度

44 人

令和5年度 29 人

